

## 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 セガトイズ  
 コード番号 7842 URL <http://www.segatoys.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國分 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山重 佳治  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

TEL 03-5822-6244

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	8,465	—	8	—	△13	—	△16	—
20年3月期第2四半期	7,940	1.5	△320	—	△311	—	△319	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△0.77	—
20年3月期第2四半期	△14.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第2四半期	7,729	3,411	44.1	158.20
20年3月期	6,736	3,415	50.6	158.75

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 3,407百万円 20年3月期 3,411百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	5.8	422	—	400	—	350	—	16.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 21,536,100株 20年3月期 21,491,100株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 21,513,969株 20年3月期第2四半期 21,484,416株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、経済情勢、市場動向など様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油・穀物価格の高騰による個人消費の伸び悩みや企業収益減少の影響で、国内景気の減速懸念が一段と高まりました。加えて米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱により、景気の先行きの不透明さを増しております。

このような状況の中、当社グループは、当社の強みであるデジタル技術の活用や他社とのアライアンスだけでなく、従来の玩具の枠にとらわれない独創性を活かした商品開発により、新しい市場の開拓やグローバル展開の強化に取り組んでまいりました。

海外市場におきましては、NEWコンテンツビジネス関連の「爆丸」が大ヒットしたことに加え、ファミリーエンターテイメント関連の「i d o g」シリーズも堅調に推移し、売上高を大きく伸ばすことができました。

国内市場におきましては、7月に発売したNEWコンテンツビジネス関連の「くるりんアイスクリン」が好調に推移し、株式会社サンリオとの共同開発キャラクターである「ジュエルペット」が好調な滑り出しをみせましたが、男子キャラクターの売上が大幅に減少したこともあり、前年の売上高を割り込む厳しい状況となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高8,465百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益8百万円（前年同期は営業損失320百万円）、経常損失13百万円（前年同期は経常損失311百万円）、四半期純損失16百万円（前年同期は四半期純損失319百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末に比べ992百万円増加し、7,729百万円となりました。

主な要因は、受取手形及び売掛金が1,659百万円増加しましたが、たな卸資産が276百万円減少し、有価証券の償還が500百万円あったことです。

負債は、前期末に比べ996百万円増加し、4,317百万円となりました。主な要因は、短期借入金を400百万円返済し、社債を590百万円償還いたしましたが、支払手形及び買掛金が997百万円増加し、また新たに社債を950百万円発行したことです。

純資産は、前期末に比べ4百万円減少し、3,411百万円となりました。主な要因は、四半期純損失16百万円を計上したことです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により113百万円、財務活動により81百万円の資金を使用し、投資活動により261百万円の資金を得た結果前期末比47百万円増加し、1,648百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、使用した資金は113百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失13百万円を計上し、また、売上債権が1,663百万円増加した反面、減価償却費223百万円を計上し、仕入債務が997百万円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、得た資金は261百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得(主に金型)による支出が221百万円ありましたが、有価証券の償還による収入が500百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は81百万円となりました。これは主に社債の発行による収入が929百万円ありましたが、短期借入金を400百万円返済し、社債の償還による支出が590百万円あったことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期通期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を考慮した上で、下期は当初見込み通りで推移するものとし、平成20年10月27日に通期の業績予想を修正しております。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益及び営業利益は152百万円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ152百万円増加しております。

## ③リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、平成20年4月1日以降にリース取引開始となる契約からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これに伴う損益に与える影響はありません。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,655,891	1,607,926
受取手形及び売掛金	3,753,479	2,094,131
商品	582	600
製品	865,142	1,176,511
原材料	137,538	99,067
仕掛品	18,419	21,701
貯蔵品	7,569	7,804
繰延税金資産	85,419	86,880
その他	231,392	692,757
貸倒引当金	△6,857	△3,729
流動資産合計	6,748,578	5,783,650
固定資産		
有形固定資産	486,081	472,116
無形固定資産		
のれん	118,059	134,924
その他	61,728	58,093
無形固定資産合計	179,787	193,018
投資その他の資産		
繰延税金資産	47,757	47,625
その他	254,815	242,766
貸倒引当金	△20,124	△16,465
投資その他の資産合計	282,448	273,926
固定資産合計	948,317	939,061
繰延資産	32,118	13,701
資産合計	7,729,014	6,736,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,086,900	1,089,299
短期借入金	30,000	430,000
1年内償還予定の社債	241,000	716,000
未払法人税等	4,959	17,502
その他	632,772	589,590
流動負債合計	2,995,631	2,842,393
固定負債		
社債	1,303,500	469,000
その他	18,682	9,500
固定負債合計	1,322,182	478,500
負債合計	4,317,814	3,320,893

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,735,684	1,729,924
資本剰余金	1,755,785	1,750,070
利益剰余金	△80,669	△64,163
株主資本合計	3,410,800	3,415,830
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△196	△284
繰延ヘッジ損益	△267	—
為替換算調整勘定	△3,237	△3,913
評価・換算差額等合計	△3,701	△4,198
新株予約権	3,074	—
少数株主持分	1,027	3,887
純資産合計	3,411,200	3,415,520
負債純資産合計	7,729,014	6,736,413

## (2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	8,465,904
売上原価	6,439,264
売上総利益	2,026,640
販売費及び一般管理費	2,017,772
営業利益	8,867
営業外収益	
受取利息	1,647
投資事業組合運用益	8,167
その他	5,047
営業外収益合計	14,862
営業外費用	
支払利息	7,445
支払保証料	3,957
為替差損	19,701
その他	5,652
営業外費用合計	36,756
経常損失(△)	△13,027
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,027
法人税、住民税及び事業税	4,763
法人税等調整額	1,328
法人税等合計	6,092
少数株主損失(△)	△2,614
四半期純損失(△)	△16,505

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,027
減価償却費	223,802
のれん償却額	16,865
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,786
受取利息及び受取配当金	△1,666
支払利息	7,445
為替差損益(△は益)	19,491
売上債権の増減額(△は増加)	△1,663,007
たな卸資産の増減額(△は増加)	276,432
仕入債務の増減額(△は減少)	997,600
未払費用の増減額(△は減少)	△73,061
その他	107,498
小計	△94,840
利息及び配当金の受取額	8,159
利息の支払額	△7,229
法人税等の支払額	△19,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	△113,499
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有価証券の償還による収入	500,000
有形固定資産の取得による支出	△221,237
無形固定資産の取得による支出	△17,413
その他	241
投資活動によるキャッシュ・フロー	261,590
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の返済による支出	△400,000
長期借入金の返済による支出	△30,000
社債の発行による収入	929,299
社債の償還による支出	△590,500
株式の発行による収入	11,229
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△723
配当金の支払額	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,027
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,965
現金及び現金同等物の期首残高	1,601,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,648,968

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社連結グループは、玩具の企画、開発及び販売を主たる事業としておりますが、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社連結グループは、在外子会社が1社存在しますが、当該所在地における売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が、10%未満であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	3,200,832	443,918	602,439	108,612	4,355,803
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	8,465,904
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	37.8	5.3	7.1	1.3	51.5

(注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …… 米国、カナダ
- (2) アジア …… 韓国、台湾、シンガポール
- (3) ヨーロッパ …… イギリス、ドイツ、フランス
- (4) その他の地域 …… オーストラリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 「参考資料」

## (1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		
	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高		7,940,839	100.0
II 売上原価		5,956,474	75.0
売上総利益		1,984,365	25.0
III 販売費及び一般管理費		2,304,552	29.0
営業損失(△)		△320,186	△4.0
IV 営業外収益			
1 受取利息	3,823		
2 出資金収益	2,635		
3 為替差益	11,017		
4 その他	8,292	25,768	0.3
V 営業外費用			
1 支払利息	9,168		
2 支払保証料	1,850		
3 シンジケートローン手数料	2,250		
4 その他	3,520	16,789	0.2
経常損失(△)		△311,207	△3.9
VI 特別利益			
1 貸倒引当金戻入益	1,479	1,479	0.0
VII 特別損失			
1 投資有価証券評価損	5,000	5,000	0.1
税金等調整前 中間純損失(△)		△314,727	△4.0
法人税、住民税 及び事業税	7,303		
法人税等調整額	△2,583	4,719	0.0
少数株主利益		90	0.0
中間純損失(△)		△319,538	△4.0

## (2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前中間純損失(△)	△314,727
2 減価償却費	247,005
3 貸倒引当金の増加額	2,151
4 受取利息及び受取配当金	△3,846
5 支払利息	9,168
6 シンジケートローン手数料	2,250
7 為替差益	△8,491
8 投資有価証券評価損	5,000
9 売上債権の増加額	△1,330,191
10 たな卸資産の増加額	△313,951
11 仕入債務の増加額	1,162,744
12 未払費用の増加額	128,487
13 その他	△97,089
小計	△511,489
14 利息及び配当金の受取額	7,162
15 利息の支払額	△11,759
16 法人税等の支払額	△106,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	△622,748
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有形固定資産の取得による支出	△337,186
2 無形固定資産の取得による支出	△38,568
3 その他	△4,755
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380,510
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 短期借入金の増加額	1,600,000
2 長期借入金の返済による支出	△130,000
3 社債の償還による支出	△25,000
4 株式の発行による収入	780
5 配当金の支払額	△104,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,341,412
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	7,216
V 現金及び現金同等物の減少額	345,370
VI 現金及び現金同等物の期首残高	988,327
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,333,697

## (3) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

当社連結グループは、玩具の企画、開発及び販売を主たる事業としておりますが、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## [所在地別セグメント情報]

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

当社連結グループは、在外子会社が1社存在しますが、当該所在地における売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が、10%未満であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## [海外売上高]

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,165,068	308,107	690,830	1,045	3,165,052
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	7,940,839
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.3	3.9	8.7	0.0	39.9

(注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …… 米国、カナダ
- (2) アジア …… 香港、台湾、韓国
- (3) ヨーロッパ …… イギリス、フランス、ドイツ、イタリア
- (4) その他の地域 …… ニュージーランド